

広報

*The Public Relations Magazine Vol.977*

# おうむ

謹  
賀  
新  
年

2013

1

Photo : 輝<朝日

# 年頭のご挨拶



雄武町長 中川原 秀樹

## 「町民の五つの誓い」の理想実現に向けての政策具現化を

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆さまにおかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。顧みますと、昨年は景気の低迷が続くとともに、中国との緊張感や消費税引上げ法案

の成立、節電や夏季における計画停電への備えなど国民生活にも直結する事案が続きましたが、激動の1年を締めくくり、11月16日の衆議院解散を受けた総選挙が29年ぶりとなる12月に執行されました。この紙面が町民の皆さまの手許に届くころには、新しい政権が誕生していることと思いますが、政権交代により地方自治体を取り巻く状況も大きく変動することが想定され、その行方を注視していかなくてはなりません。そんな中、夏にはロンドンオリンピックが開催されました。日本選手団は、史上最多となる38個のメダルを獲得するという活躍をされ、皆さまの中にも寝る間を惜しんで応援された方もいると思います。この活躍は、多くの国民に大きな勇氣と感動を与えたと思います。

で、近年、好調が続いたイカの水揚げ不振、ホタテの水揚げの大幅減など、3年前の水揚げ水準に逆戻りした感があります。また、関連する水産加工業においても、その多くを依存するホタテの大幅な水揚げ減などもあり、大変厳しい経営が続いています。さて、雄武町では、町の最上位計画である総合計画のうち、後期基本計画のスタートの年となります。町民各層からなる審議会の答申を踏まえ、現在、町議会に特別委員会を設けて審議いただいているところでもあります。私の町政運営の理念である「郷土愛に燃え、明るく豊かなまちづくり」を進めるため、町民憲章に掲げている「町民の五つの誓い」の理想実現に向け、総合計画に則った具体的施策の推進を図って参る所存ですので、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が町民の皆さまにとりまして、幸多い年となることを祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



雄武町議会議員 尾田 親晴

## 若者が希望を持てるまちづくり

平成25年の新春を町民の皆さまはご家族おそろいでお迎えのことと存じ、心より祝福申し上げます。

また、平素、議会に対してまして深いご理解とご協力を賜り、衷心からお礼と感謝を申し上げます。昨年を振り返ると、春は寒い日が続き、しかも雨が多く、越冬用飼料の確保に苦労した年でした。さらに、木材界に

おきましても円高による影響で物が動かず、大変な一年でありました。更に漁業は昨年比大幅減の漁獲量で振いません。ましてや異常気象も手伝い、台風、爆弾低気圧、大雪とこれまでに経験したことのないような事態が次から次へと発生し、対策に頭を悩ませたことと存じます。また、被害に遭われた方々に対し心よりお見舞い申し上げます。これに加え、国会の解散に伴い師走選挙も執り行われ、一段と多忙な年でありました。新政権には地域の特性にあった活性化対策をぜひ実行していただきたいと思えます。加えて、今の年金制度は若い人ほど払い損になる不公平が生じています。具体的な考えはどの政治家、どの政党からも主張は伝わってきません。きちんと議論を重ね若者が納得できるような説明責任を果たしていただきたいと思えます。

先日、当町でも小中学生の学力テストが行われ、新聞によるとオホーツク管内は全道平均より低いと記されています。次代を担う子どもたちをどう教育するのか、真の教育再生を真剣に考えていかなければなりません。さらには、新しくできた雄武町健康ふれあいセンターはゲートボールだけではなく広い意味での利用、つまり冬場に土の感触を子どもたちに体験させるのも教育の一環だと思いますし、幼児からお年寄りまで健康増進のための施設利用を考える必要があります。若者が希望を持てる町づくりに心がけ、停滞は私どもに許されません。さらに町民の福祉を増進し、町民生活の安定を図るにはなお重要問題が山積しています。その解決を図ることは直接町政を担当するわれわれに課せられた責務であり、国および北海道の施策と相まって町財政の範囲内において最大の効果が上がるよう努力する覚悟であります。平成25年こそは町の躍進の年として町政全般にわたる内容充実のため最大の努力を傾注する所存でありますので、なにとぞ倍旧のご指導とご鞭撻のほどをお願い申し上げます。町民の皆さまにとりまして今年には昨年より勝る年となりますよう念願し、年頭にあたりいささか所感を述べて新年のご挨拶といたします。